

あきく



みんなの福祉

NO.104
2017.3.27

中野東学区

「ほっこり! ほこりできる暮らしづくり」

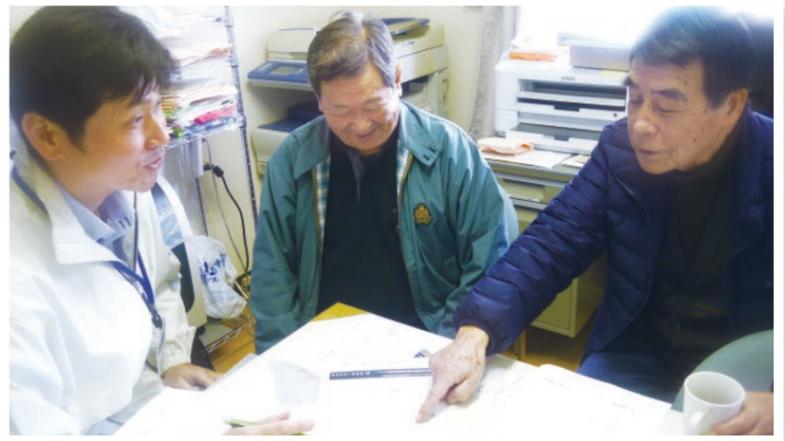
中野東学区は、広島市中心部から約1.4kmに位置し、周囲を山に囲まれ中央を瀬野川と国道2号線が縦貫し、その北側にJRが走っている地域です。

生活の向上、住みよいまち、明るいまち、楽しく安心して暮らせる思いやりのある福祉のまちづくりを目的として、中野東学区社会福祉協議会は「お互いに支え合い、安心して共に暮らせる福祉のまちづくり」をスローガンに地域福祉を勧めています。

平成26年に障がいのあるお子さんの保育園の通園で、お母さんの「地域の小学校に行かせたい」という声を大切に、地域への声かけをされました。その結果、地元町内会やボランティアさんの協力により週3日の送迎介助支援に取り組まれました。

また、65歳以上高齢者を対象にした見守り活動で、瀬野川東地域包括支援センターとともに、平成27年8月から延べ11回の会議を重ねてきた、「あんしんネット中野東」の取り組みがあります。「町内会、民生委員児童委員、福祉委員、老人クラブなどで一体となって話し合ってきました。日常のご近所づきあい、日頃のコミュニケーションが大切。最近は災害も頻繁で不安に思っている人も多はず。これからは高齢者だけでなく、子どもも含めた幅広い世代交流も大事。」と同協議会小田井会長は日常のつながりを強調されます。

地域包括支援センター職員の鈴木さんは「地域包括支援センターとしても、これまで関わりがなかった人やゆるいつながりの中から、お互いに支え合うことに一役買えれば」と話されました。



《左から地域包括支援センター職員 鈴木さん、学区社協 門前副会長、学区社協 小田井会長》

新たな
交流拠点

ふれあい広場「ひだまり」[阿戸地区]

保育園の旧園舎を活用した居場所(サロン)が阿戸地区にできました。住民同士のつながりの場、交流の拠点として、平成29年1月より始まりました。阿戸地区の住民でグループを結成し、建物は阿戸認定子ども園の設置に伴い、空いていた旧園舎を活用したものです。

オープン後は、高齢者を中心にふらりと立ち寄っていただいて、子どもたちの話や最近のできごとに会話がはずみ、訪れた人同士の交流が盛んです。

参加者の田中 静枝さんは「だれかと話ができるから。」と日頃会えない人と会えることを楽しみにされ、町外から参加の池田 慎一郎さんは「この町の風景が好きで、いろいろな人と話ができる。」と次の火曜日を待ち遠しくされています。

「ひだまり」は毎週火曜日、午後1時半から午後3時半に開催。コーヒーやお茶代として一杯100円が必要です。



ふれあい広場「ひだまり」 ～通称 阿戸Cafe(あと・かふえ)～

グループ紹介

【矢野地区】
笑顔と笑顔でひろがる世界

「子育て」と「仕事」を両立しながら、いきいき働きたいと考えるが…、実際には育児での不安や悩みを抱えることも多い。

そんな中「同じ母親として、お互い助け合う活動が何かできないだろうか…」と、同じ悩みをもつ子育て中の仲間へ声をかけて結成されたグループが「笑顔つながり隊」です。

平成29年4月には5年目を迎え、昨年、矢野に拠点を置き、メンバー14名で子ども服のリサイクルや野菜づくりを通じた食育活動も始められています。

「生活スタイルも世代間の意識も、ともに変わりつつある。世代を問わず訪れる人同士が気軽に話せる“ホット”できる居場所が必要と感じた。」と代表の上 郁子さん。

相互に支え合い来られた方が元気になり、笑顔が生まれる、あたたかい居場所にしたいと想いを馳せられています。



(中央)代表の上さん

社会福祉法人 広島市安芸区社会福祉協議会

この広報紙の発行は、共同募金の配分金も充てられています

安芸区船越南三丁目2-16(安芸区総合福祉センター3階)
TEL: 082-821-2501 FAX: 082-821-2504
メール: aki@shakyohiroshima-city.or.jp